

学校と地域を結ぶ情報誌

つながり

## TSUNAGARI NEWS No.5

「社会に開かれた教育課程」実現に向け、「地域連携担当」の注目度アップ

岡山県では平成24年度から県内全公立学校(小・中・高・特)に学校と地域の連携窓口である「地域連携担当」を校務分掌に位置付け、連携体制を推進しています。平成29年3月の社会教育法改正でも示されているように、今後「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。そこで、益々期待が集まる地域との連携のキーマンである「地域連携担当」の役割について留意しておきたいポイントをお伝えします。

## 「学校の“ニーズ”」と「地域の“ニーズ”」の実現

学校の“ニーズ”を共有し、地域の力(地域の方々の学び)を最大限に生かす!



地域連携担当とは…

## 学校の“ニーズ”を伝え、その実現に向けた「火付け役」



美作市立美作北小学校  
地域連携担当  
高本英樹 先生

地域連携の活動を充実させるためには、地域の方が「何のために」、「自分の何(できること)を生かして」、「何をするのか」を理解し、安心して活動に参加できることが重要です。

そのために、地域連携担当が担任の希望を正しく把握し、学校の“ニーズ”として具体的に地域コーディネーターに伝えています。このことによって、担任と地域の方との細かい打合せもスムーズとなります。地域の方が「やる気まんまん」の状態になっていると、充実した活動につながります。

活動後、地域の方から、「参加して良かった」、「また協力するから声をかけてね」等の声を聞くと、やりがいを感じます。

# 地域の“ニーズ”を生かし、教育効果が向上！



地域での活躍に期待！

### 地域の“ニーズ”

中学生の地域行事への参画



教育目標と合致！



クリーン作戦



3世代交流会



地域の一員としての意識

自己有用感の向上

地域の大人への信頼感・地域理解

愛郷心の育成

地域連携担当とは…

**地域の“ニーズ”の中に、「子どもが育つ場」を見出す人**



美咲町立旭中学校  
地域連携担当  
國忠浩文 先生

「地域行事の中で、その地域に住む中学生に具体的な役割を任せ、成長を見守りたい」という地域の“ニーズ”を生かし、学校の教育目標に照らし合わせて計画することで、教育効果が上がっています。

地域の大人や小さな子どもとの関わりの中で活躍することで、一人一人の生徒に「地域の方々から頼りにされる喜び」が生まれ、主体性が育っている姿を見ることができ、生徒が地域に出て学ぶ意義を感じています。

平成30年度地域学校協働活動研修会(学校支援)での実践報告から